

◆好調カテゴリー別 金額市場規模前年比一覧

主食		
前月よりも落ち込んだものの、前年比105.0%と前年を上回った。値上げによる価格上昇が影響しており、販売数量では苦戦したカテゴリーも見られる。 「米飯類」:地震の影響で、北陸を中心として備蓄需要が高まったと見られる。カレーご飯の好調も寄与。 「菓子パン・調理パン」:値上げの影響もあるが、手軽に食べられることから外出増により需要が高まったと見られる。コスバの良いプライベートブランド商品の好調も寄与。		
カテゴリー	金額前年比 2024年1月	前月差 2024年1月
主食 TOTAL	105.0	-0.8
米	113.2	4.9
米飯類	105.1	4.0
食パン	103.3	0.1
菓子パン・調理パン	106.8	-3.9
シリアル類	103.7	5.9
袋インスタント麺	101.8	-1.0
カップインスタント麺	100.9	-0.7
乾麺	105.5	0.3
生麺・ゆで麺	103.9	-1.2
スバゲティ	102.0	-1.5
マカロニ類		
小麦粉	101.6	-1.6
てんぷら粉	102.7	-2.3
唐揚げ粉	105.8	1.5
パン粉		
プレミックス	100.7	-1.4

調味料		
前月よりも緩やかに伸長し、前年比102.0%と前年を上回った。主食と同様に値上げによる価格上昇が続いており、販売数量では苦戦したカテゴリーも見られる。 「シロップ類」:テレビ番組で特集された影響か、メーカーシロップの販売が大きく伸長した。 「蜂蜜、ケチャップ、マヨネーズ、煮干し」:値上げの影響もあるが、コスバの良いプライベートブランド商品の好調が見られた。		
カテゴリー	金額前年比 2024年1月	前月差 2024年1月
調味料 TOTAL	102.0	0.3
醤油	102.8	-0.2
味噌	101.7	4.2
食塩	104.0	4.1
料理酒	102.8	-2.3
砂糖	106.0	3.3
低カロリー甘味料		
シロップ類	116.1	13.4
蜂蜜	108.5	0.6
ソース	104.4	-1.0
ケチャップ	112.4	0.0
マヨネーズ	110.3	2.2
ドレッシング	101.1	1.6
香辛料	106.9	0.1
エッセンス類	105.0	-5.8
焼肉シャブシャブのたれ	103.6	0.8
食酢		
ほん酢		
本みりん	100.9	-2.6
みりん風調味料	102.3	-0.8
風味調味料		
削り節	104.5	-1.3
煮干し	109.6	-1.7
わかめ・こんぶ類		
つゆ・煮物料理の素		
サラダ油・天ぷら油		
ゴマ油	102.3	3.2
バター	107.3	0.5
マーガリン類		
チーズ	101.4	-0.6
ジャム・ママレード		

※網掛け
前年比 105%超: 105.0%

加工食品①		
前月よりも緩やかに伸長し、前年比102.7%と前年を上回った。 「春雨・くず切り」:値上げの影響もあるが、鍋用需要により伸長したと見られる。 「海苔、お茶漬の素」:値上げの影響で販売金額は伸長したが、販売数量は伸び悩んだ。 「冷凍水産」:値上げの影響もあるが、コスバの良いプライベートブランド商品の好調も寄与。		
カテゴリー	金額前年比 2024年1月	前月差 2024年1月
加工食品① TOTAL	102.7	0.2
春雨・くず切り	107.7	0.6
こうや豆腐		
海苔	107.2	-1.1
ふりかけ	103.7	0.9
お茶漬の素	105.5	3.8
まぜご飯の素		
カレー	103.4	1.9
シチュー		
パスタソース	100.8	2.8
シチューベース	100.7	-5.5
メニュー専用料理の素		
スープ類		
味噌汁・吸物類	103.7	3.7
調理用スープ		
冷凍水産	117.4	-17.8
冷凍農産	104.3	-7.8
冷凍調理	104.3	-0.4

加工食品②		
前月よりも伸長したものの、前年比99.9%と前年をわずかに下回った。 「パウチ入り食材」:値上げの影響もあるが、準備や片付けの手軽さからか、カツオ油漬けやサトイモなどで販売数量の増加が見られた。カツオ油漬けはマグロ油漬けよりも低価格なため人気と推察される。 「和風食品」:値上げの影響の影響もあるが、玉子やたい焼きなどは販売数量も伸長した。		
カテゴリー	金額前年比 2024年1月	前月差 2024年1月
加工食品② TOTAL	99.9	0.7
魚介類缶詰		
野菜缶詰	103.8	0.1
フルーツ缶詰	102.1	0.1
畜肉缶詰	104.4	14.9
パウチ入り食材	110.7	0.1
和風食品	106.0	3.3
洋風食品		
中華風食品		
畜肉ハム		
畜肉ソーセージ		
魚肉ソーセージ		
焼豚		
ベーコン		

加工食品③		
前月よりも伸長し、前年比102.2%と前年を上回った。 「納豆」:値上げの影響もあるが、コスバの良いプライベートブランド商品の好調が見られた。 「もずく・めかぶ」: 前年よりも気温が高かったため、需要が拡大したと見られる。		
カテゴリー	金額前年比 2024年1月	前月差 2024年1月
加工食品③ TOTAL	102.2	1.4
かまぼこ	102.1	-1.3
ちくわ	104.6	-0.3
はんぺん		
揚げ物		
納豆	105.4	-0.0
煮豆		
佃煮	101.1	3.7
もずく・めかぶ	114.8	-4.4
豆腐類	102.3	1.2

菓子		
前月よりも緩やかに伸長し、前年比105.4%と前年を上回った。 「キャラメル」:コーヒーやフルーツ味などの商品が人気で、インバウンド需要が寄与しているものと推察される。 「キャンディ」:インフルエンザとコロナの同時流行の影響か、のど飴が好調。インバウンド需要も寄与したと見られる。		
カテゴリー	金額前年比 2024年1月	前月差 2024年1月
菓子 TOTAL	105.4	0.2
チョコレート	104.9	1.8
キャラメル	119.0	15.8
キャンディ	112.9	1.1
チュウインガム	108.3	3.7
ビスケット&クラッカー	102.9	-1.6
スナック	106.7	0.1
煎餅・あられ	104.4	1.3
玩具メーカー菓子	130.7	-9.2
栄養バランス食品	101.7	2.1

嗜好品		
前月よりも落ち込んだものの、前年比103.6%と前年を上回った。 「アイスクリーム」:値上げの影響もあるが、前年よりも気温が高かったため需要が拡大したと考えられる。プチ贅沢需要か、高価格帯の商品の好調も見られた。 「ホイップクリーム」:値上げの影響で販売金額は伸長したが、販売数量は伸び悩んだ。		
カテゴリー	金額前年比 2024年1月	前月差 2024年1月
嗜好品 TOTAL	103.6	-1.4
アイスクリーム	107.4	-5.7
デザート類	104.3	0.2
ペビーフード		
インスタントクリーム	102.1	0.1
フレッシュクリーム		
ホイップクリーム	105.5	-3.6
インスタントコーヒー		
レギュラーコーヒー	100.0	-0.1
紅茶		
ココア	101.0	0.4
日本茶		
麦茶	103.9	1.6
中国茶		

飲料		
前月よりも落ち込んだものの、前年比104.4%と前年を上回った。前年よりも気温が高かったことや外出が増えたことが需要を底上げしていると考えられる。 「トマトジュース」: 血圧を下げる効果や睡眠の質を向上させる効果などを訴求する機能性表示食品の好調が見られた。生鮮トマトの価格が高騰するなど不安定なため、代替需要が伸びているとも推察。 「ミネラルウォーター類」:地震の影響で、北陸を中心として備蓄需要が高まったと見られる。 「乳酸飲料」:免疫力向上の効果を訴求する商品が好調。インフルエンザとコロナの同時流行が需要を高めているとかがえる。		
カテゴリー	金額前年比 2024年1月	前月差 2024年1月
飲料 TOTAL	104.4	-0.9
牛乳	105.4	-0.5
ヨーグルト		
乳酸菌飲料	107.9	-2.0
豆乳	101.4	2.1
100%ジュース	108.4	1.3
果汁飲料	107.8	1.3
トマトジュース	131.8	3.0
野菜ジュース		
コーラ		
サイダー	100.7	-7.7
炭酸飲料	102.5	-2.5
コーヒードリンク	102.6	-0.0
紅茶ドリンク	113.6	0.6
液体茶	101.6	-2.6
スポーツドリンク	108.6	1.9
美容・健康ドリンク	111.0	-3.9
栄養ドリンク	106.6	-2.1
ミネラルウォーター類	110.6	2.0
乳酸飲料	114.8	3.1

ペット		
前月よりも伸長し、前年比106.3%と前年を上回った。各種ペットフードについて、値上げの影響により販売金額は伸びているものの、販売数量は苦戦した。		
カテゴリー	金額前年比 2024年1月	前月差 2024年1月
ペット TOTAL	106.3	0.8
ドッグフード	105.2	-0.2
キャットフード	112.2	0.9
ペット用品	101.1	0.6

アルコール		
前月よりも落ち込み、前年比99.6%と前年をわずかに下回った。ウイスキーは、ハイボールの好調が継続している。		
カテゴリー	金額前年比 2024年1月	前月差 2024年1月
アルコール TOTAL	99.6	-1.5
ビール類		
ウイスキー	111.0	-9.5
ワイン		
日本酒		
焼酎		

日用雑貨		
前月よりも伸長し、前年比107.1%と前年を上回った。販売金額の伸びには、ティッシュペーパーやトイレットペーパーなどの紙製品をはじめ、各種雑貨で値上げの影響が見て取れる。 「殺虫剤」: 前年よりも気温が高かったため、需要が拡大したと考えられる。 「ティッシュペーパー」: 値上げの影響もあるが、外出増のためか、ポケットティッシュの販売数量の増加が見られた。節約志向の高まりか、ボックスタイプよりも低価格なソフトパックが人気となっている。 「大人紙おむつ」: 値上げの影響もあるが、外出増のためか、軽失禁用の商品の販売が好調。		
カテゴリー	金額前年比 2024年1月	前月差 2024年1月
日用雑貨 TOTAL	107.1	2.8
歯ブラシ	104.6	2.8
歯磨き	105.5	1.5
マウスウォッシュ	103.3	5.5
義歯用剤	108.2	2.4
洗濯用洗剤	110.0	1.4
中性洗剤	115.9	0.6
漂白剤	110.6	2.1
柔軟剤	106.8	1.8
台所用洗剤	113.1	2.9
住居用クリーナー		
トイレ用クリーナー	111.4	-3.9
バスクリナー	105.5	0.9
パイプクリーナー		
家庭用手袋		
化学雑巾	100.4	1.0
たわし・スポンジ	100.9	1.0
水切り袋	100.9	0.4
殺虫剤	119.3	-7.7
防虫剤	100.1	-2.5
カビ防止剤		
芳香・消臭剤	102.3	1.0
トイレットタンク用洗浄芳香剤	104.7	-0.7
除湿剤		
ラッピングフィルム	101.8	1.3
アルミホイル	108.9	3.7
食品包装用品	108.1	7.5
アルミガスケット		
ティッシュペーパー	115.4	-1.0
トイレットペーパー	109.6	2.9
ペーパータオル	110.4	2.3
ぬれティッシュ		
使い捨て紙クリーナー	103.3	-0.6
紙おむつ	108.4	4.2
大人紙おむつ	117.5	1.3
生理用品	116.1	4.3
絆創膏	100.1	5.5
使い捨てカイロ		
綿棒	107.3	3.9

化粧品		
前月よりも伸長し、前年比113.2%と前年を上回った。外出増とインバウンド需要の拡大を背景として好調が継続している。 「パック」: 化粧品のなかでも、インバウンド需要でとりわけ人気となっている。セルフケア需要の高まりか、国内需要も堅調。 「口紅」: マスクを付けずに外出することも増えてきているためか、コロナ禍で落ち込んでいた販売金額の回復傾向が続いている。色どツヤが落ちにくいと訴求する新商品の寄与も見られた。		
カテゴリー	金額前年比 2024年1月	前月差 2024年1月
化粧品 TOTAL	113.2	4.3
クレンジング	110.6	2.2
洗顔クリーム	110.1	2.1
化粧水	109.5	4.6
乳液	106.7	5.8
栄養クリーム	114.2	2.7
パック	158.8	4.8
美容液	115.4	7.5
化粧下地	115.8	-0.5
ファンデーション	112.2	3.6
おしろい	115.9	15.4
口紅	154.1	27.2
眉目料	101.6	0.5
マニキュア		

医薬品		
前月よりも伸長したものの、前年比97.1%と前年を下回った。前年同期は新型コロナウイルスの第8波の感染が広がっていたため、マスクや抗原検査キットなどの需要が前年と比べて落ち込んだことが影響したと見られる。そうした中、インフルエンザとコロナの同時流行により、ミドリリンク剤や総合感冒薬などの需要は堅調に推移した。 「鼻炎治療剤」: 暖冬の影響で花粉の飛散が早まった影響か、需要が伸長した。 「外用鎮痛消炎剤、目薬」: インバウンド需要の寄与がうかがえた。		
カテゴリー	金額前年比 2024年1月	前月差 2024年1月
医薬品 TOTAL	97.1	5.1
コンタクト用剤		
マスク		
ミドリリンク剤	111.8	2.0
漢方薬	110.9	5.4
総合感冒薬	111.1	16.4
鼻炎治療剤	113.5	2.1
解熱鎮痛剤		
鎮咳去痰剤	108.2	-2.5
口腔用薬	107.0	7.9
胃腸薬	102.6	2.3
整腸薬	103.6	-0.6
外用鎮痛消炎剤	112.0	2.3
皮膚用薬		
目薬	108.0	0.8
健康食品	110.9	2.8

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。